

浅澤社

初辰まいりの3つ目の場所が浅澤社である。かつて大きな湿地だった場所にある。浅澤とは「浅い湿地」を意味する。この神社は、水の女神、市杵島姫命を祀っている。美と芸能の守護神であり、浅澤社は、特に俳優、ダンサー、音楽家など、より大きな成功を求める芸能に関わる女性に人気がある。

毎年5月になると、神社を囲む池にはカキツバタが咲く。その紫色の花は古くから観光客を魅了し、8世紀の現存する最古の和歌集である万葉集にも詠まれている。この花は染料としてよく使われていた。

浅澤社では、午前6時から午後4時まで、初辰まいりの参拝者を受け付けており、お布施は大歳社のものに含まれる。